

ご近所の お医者さん

494

谷本医院院長 谷本吉造さん 一生涯区

認知症高齢者

認知症高齢者に対する「バリエーション」「ユマニチュード」によるケアが最近、注目されています。バリエーションという言葉は元来、「確認する」「認める」「強くする」という意味ですが、認知症の人に敬意を示して感情を認め、共感し、力づけるという意味で使われています。このバリエーション療

国内でも多くの施設で、この研修が行われています。バリエーションとはコミュニケーションの技術であって、最も重要なことは「傾聴」の姿勢であるといわれています。

す。感情に焦点をあて、言葉では通じあえない人とのつながりを探していくことも大切です。認知症の方とご家族が安らぎ、共に生きるために、バリエーションによる対話が必要とされています。思いがけない行動に隠された、認知症の人の思いを、くみ取らなければならぬということでもあります。ユマニチュードとはフランス語で「人間らしさ」という意味で、介護において

共感と尊厳で対話を

め、共感し、力づけるという意味で使われています。このバリエーション療

ます。認知症の患者さんは、自分自身の言葉で話している時に、自分の話を「聞いてくれる人」と「聞いてくれない人」との判断をされています。従って、まずは、しっかりと患者さんの話に耳を傾けることが大切なのです。

相手を思いやり、相手の気持ちを優先するという考え方は、バリエーションやユマニチュードによる対話、コミュニケーションの力で介護や医療の現場を変えていくことができるのではないのでしょうか。認知症の有無によって人の価値が変わることはなく、認知症の人と介護者は平等であるということです。尊厳を持って、死を迎えることができればと願うばかりです。



認知症の患者さんの行動には全て意味があり、理由があります。なぜそのような行動をとるのかを知ることが、バリエーションの基本といわれています。

人が死を迎えること